

議会になになぜ？



議会に対する素朴な疑問をQ & A方式で
分かりやすく解説します。

なぜ議会活性化？

Q なぜ今、議会活性化なの？

A 近年、全国的に選挙の投票率が下がっている傾向にあり、特に地方自治体の議会議員選挙では著しい現状です。

また、町村議会の選挙では議員に立候補する人が少なく無投票になっているところも増えてきています。

このことを大きな問題ととらえ、議会の活性化や改革が必要と考え、取り組みが始まりました。

Q 具体的に何を？

A 白鷹町議会では「議会活性化特別委員会」を設置して、二つの分科会に分けて検討することになっています。

第一分科会では、主に議員定数と議員報酬について。

第二分科会では、主に※1議会基本条例の制定についてです。

Q それじゃ今まで何もしてこなかったの？

A 今までも委員会を設置して活性化に向けた改革を進めてきました。

たとえば、情報公開として議員の自主編集による「議会だより」の発行や議会のインターネット放映。

議会審議のあり方として一般質問での※2一問一答方式の導入や、補正予算も予算特別委員会での審査。

また、議員自らが選挙によって選ばれる特別職であるとの自覚の

もとに「政治倫理条例」の制定。など他の自治体に先駆けて取り組んできました。

Q 結局、何が目的なの？

A まちづくりには議会も欠かせない存在になつていくことが重要です。

活性化の成果を町民の方々に実感してもらうために、今まで以上に町民の視点を意識して改革していくことを目的としています。



※1開かれた議会を目的に議会運営の基本原則を定めるもの。
※2議論を深め、聞いている人にもわかるようにするための質疑方式。

表紙

— 森林保全の大切さと苦勞を学ぶ —

東根小学校宝山整備

東根小は、昭和53年から「緑の少年団」の活動に力を入れてきました。9月12日は、朝から6年生が親子で、学校林でもある近くの「宝山」の整備作業を行いました。地域の方々が整備したものを、学校とPTAが管理しているものです。秋晴れの中、作業を通じて森林保全の大切さを学び、その苦勞を体験しました。

